翔る夢

ｋａｋｅｒｕｙｕｍｅ
武蔵野市立第五小学校
学校だより１１月号
令和７年１１月５日

初めての運動会を終えて…

校長　鈴木　健太郎

11月1日、第五中学校校舎に移転して初めての運動会を無事に開催することができました。前日の雨が大きな不安要素でしたが、水はけのとてもよいグランドは、当日朝にはトラック内に水たまりが一つもない状態で私たちを迎えてくれました。当日は1300人もの皆様に、子ども達の走競技や表現に精一杯取り組む姿、根気強く練習を重ねた成果、互いに応援し合う様子、係として運動会を支える姿等、様々な姿をご覧いただくことができました。ご来場いただいた皆様、応援ありがとうございました。

さて、今年度の運動会は、今までとやり方を変えたことが多くありました。開催場所は、関前南小の校庭をお借りすることも検討していましたが、練習から本番まで同じ場所で行うことが児童にとって力をより発揮できると考え、第五中学校の校庭をお借りすることを中心に検討を進めました。しかし、現五小校舎がある分、校庭には十分なスペースはありません。そこで、トラックコースを４コースにし、暑さ対策の児童席テントを設置しないでよい時期の開催を検討し、秋の深まった時期の開催としました。これは第五中体育発表会との練習期間をずらす効果もありました。

種目も変更しました。立地が変わり、スクールバスによる登下校もある現在、登下校の時間を考慮して計画する必要があります。そこで、全校競技「大玉送り」を事前に行い、当日の時間確保に努めました。また、種目ごとの時間短縮を図るため、レース後の待機場所を工夫し、入退場にかける時間の短縮を図ったり、例年６年生の表現の後に行っていた高学年リレーを中ほどで実施し、6年生や高学年係児童の負担軽減を図ったりました。

一方、事前に行ったことで生まれた取組もあります。事前に行った大玉送り、司会進行は計画・実行委員の児童が行い、児童主体の取組とすることができました。その中で、本校の特色でもある「もり上げ係」が、マスコットの発表、もりあげソング、応援グッズの紹介をじっくり行いました。土曜日、短距離走の際、児童席にいた児童がかざしていたマスコットのシートや、「さんぽ」の曲に合わせて歌っていた曲は、「もりあげ係」のアイデアでした。



【事前開催の大玉送りの様子】

うれしかったこともあります。最初から最後までご覧いただいた中学校の久山校長先生には、「中学校にどうつながっているかを知るよい機会になった」とお話をいただきました。片付けの際には、多くの保護者の皆様にテントや机・いすなどの片づけをお手伝いいただきました。急なお願いに快くお手伝いいただけたこと、本当にありがとうございました。さらには中学生が、「なにか手伝うことはありませんか？」と声をかけてきてくれたこと、私が直接知らない五小卒の中２の生徒も声をかけてきてくれ、練習のときから窓から様子をうかがってくれていたことが思い出され、あたたかな気持ちになりました。

初めての運動会、今まで以上に多くの方に支えられながら、子ども達の頑張りをご覧いただくことのできたよい一日になりました。

学校ホームページ
「学校生活の様子」二次元コード



児童考案の、運動会マスコット
『応援ピヨちゃん』です。

開かれた学校づくり協議会　合同開催します

11月7日(金)には、第五中、関前南小との合同で開かれた学校づくり協議会を開催します。今年度第五中学校敷地内に移転し、より一層物理的な距離が近づいた３校が、各開かれた学校づくり協議会でどのような取組や活動を行っているのか、互いに情報共有を図るとともに、今後の各校での取組に生かすことのできる機会にしたいと考えています。次回の学校だよりでご紹介します。

１１月の生活目標
友達を大切にしよう。

今月は「ふれあい月間」です。学校では様々な個性をもった友達に出会います。自分と気が合う子、一緒に遊べる子、互いを高め合える子、また、その逆もあるかもしれません。そうした個性が違う子どもたちと過ごせるのが学校であり、成長できる場所です。「互いに認め合う」「互いに大切な存在と思う」という気持ちをもって、望ましい人間関係をもって仲良く協力し合って過ごしていけるように指導していきます。